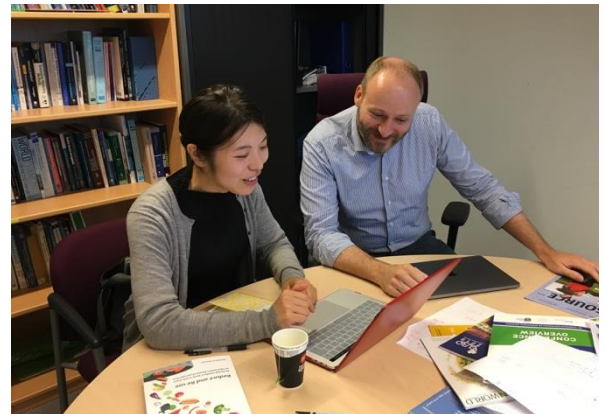


拠点形成研究交流報告：オランダ ワーゲニンゲン大学訪問 共同研究の打ち合わせ実施とセミナー参加



2019年9月15日～22日に、JSPS 研究拠点形成事業にご支援いただき、オランダ・ワーゲニンゲン大学 (WUR: Wageningen University and Research)へ共同研究の打ち合わせ実施とセミナー参加を目的に訪問いたしました。豊かな水と緑を湛え、周囲の風景に溶け込むキャンパスは実に美しく、行き交う学生の生き生きとした姿が非常に印象的でした。(写真上)

Operations Research and Logistics Group 所属の Renzo Akkerman 准教授と Bezhad Behdani 助教にお時間をいただき実施した共同研究の打ち合わせでは、食品流通の観点から考察する食料の物理的入手可能性の改善を主題とした私の研究計画に関する説明を交えつつ、今後共同で取り掛かる研究課題の抽出を行いました。Renzo 准教授と Bezhad 助教は食品流通、中でも生鮮食品の流通の特異性について述べ、事業者ならびに消費者両者にとって有益な流通の姿を模索していく重要性を強調されておりました。(写真右)



そして、2日間に渡って行われた同研究グループ主催のセミナーでは、今学期修了予定の博士課程学生2人の公開論文審査会と、オランダ国内外より招聘された研究者の方々のご講演を拝聴いたしました。フードシステムと物流の関係を共通課題に掲げ行われた議論は、私が研究課題とする食料の物理的入手可能性と物流に通じるものであり、大いに刺激を受けました。(写真下)

今回の訪問は、JSPS 研究拠点形成事業を始め、多方面よりご助力いただき実現いたしました。このような貴重な機会を与えてくださったこと、重ね重ねお礼申し上げます。

(文：東北大学大学院農学研究科 農業経営経済学分野 修士2年 大鐘智香子)

